令和2年度 事務事業総点検シート(1) [令和2年度事務事業(新規)]

	_						
一般会計						事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ひきこもり支援事業					シート番号	011-276
担当部署名	健康福祉局	局	健康	部	こころの健康センター 課	評価責任者(課長名)	上田

≪ I. 基本情報≫

	1	堺市マスタープランの政策体 系に基づく事業の位置付け	政策	政策 1 暮らしの確かな安全・安心を確保します										
		从(一里)(中外()口巨门()	施策	2	地域全体で支える福祉の付	で支える福祉の仕組みづくり								
基	2	事業開始年度		令和 2 年度 終了(予定)年度 一 年度 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第六条(精神保健福祉センターの設置)										
本情	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	精神保健											
報	4	関連計画	第4次堺市	地域社	富祉計画									
	5	事業実施の経緯	こころの優相談・指導 ている。ひ	時神保健及び精神障害者福祉に関する法律第6条(精神保健福祉センターの設置)に基づき、平成18年度4月 ころの健康センターを開設し、市民に対して精神保健及び精神障害者の福祉に関する知識の普及、調査研究 引談・指導(複雑又は困難なもの)、市内関係機関に対し技術的事項についての協力その他必要な援助を実施 いる。ひきこもり支援は地域支援事業費から予算執行していたが、令和2年度に予算事業再編を行い、新規記 した本事業において執行することとなった。										

≪Ⅱ.事業概要≫

	n n	事業の実施主体		本庁		区	■ !:	出先機関	(;	こころのイ	建康	センター	-					市外郭	『団体	
	U	(誰が実施しているのか。)		地域区	団体・オ	民		民間企業	業•	NPO		その作	변(
	事業の対象 7 (誰を、何を対象としている ひきこもりの状態にある本人やその家族 のか)																			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたい のか)	と対題はなが	佳計され は、喫緊	る。ひ る。ひ が重要	きこも 爰が必 である	りの高 要であ ること」	齢化、長 る。その を知り、支	期化たる	とは、ひき り、ひきこ	こも	り者を抱 皆やその	える 家b	家族も高齢 実が「ひきこ	令では もり	。堺市にも4000人 あり、いわゆる「80 の相談機関がある 、連携により、アウ	50問 ること	問題」とし :」「相談	いわれる記機関にて	課つ
事業概要	0	事業内容 (スケジュール、実施方 法・手段、事業ポリューム など)	に 23 4 例 5 6	関する材 教育研修 普及啓 地域関係 に対する 組織育の	目終事事機助事事機関事業業	う精種: 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (保健福 啓発冊 技術支 等を行 疾会、	福祉に関す 日子等の代援:所管が ・う。 当事者会の の作成等を	る成の 等行	業務を行 、市民講 、精神保優 への技術的 う。	う関係 演編 を う支持	系機関職 の開催、 Lに関す	歳員、市 る事	向けの研修 民協働によ	を開 る啓	複雑又は困難なも 別催する。 発イベントの企画 こ応じ、また、各村	i等を	行う。		
	10	直接実施以外の主な支出先	_	-127	<u> </u>		1170	-	-1	X 110 L	1110		_	747-11	_	- C + S D				_
	10	世域大心の上の人山ル	ı																	

«	Ш.	投	入量≫		平成2	9年度	平成3	0年度	令和え	元年度	令和2年度	
			項目	単位	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
		事業費(a)		千円	0	0	0	0	0	0	16,678	
		_ IND.		千円	1	-	-	-	-	-	11,792	
		な事職員手当等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		千円	-	ı					2,208	
			費 報償費		1	1	ı			-	1,254	
事業	11	訳		千円	-	I	ı	ĺ	ı	-		
コ			国•府支出金	千円	-	ı	ı	ı	ı	-	8,576	
スト			受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	_	-	-	-	_	-		
			市債	千円	_	ı	-	1	-	-		
		訳	その他()	千円	-	ı	ı	ı	ı	-		
			一般財源		-	I	ı	ĺ	1	-	8,102	
	12	2 人件費 (b) +F		千円		0		0		0	8,200	
	13	総=	1スト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	0	0	24,878	

 事務事業名
 ひきこもり支援事業

 シート番号
 011-276

≪Ⅳ. 評価 (測定・分析)≫ ロジックモデルの考え方

活動(アクティビティ) 問題に対処するための 具体的活動

因果関係

活動結果(アウトプット) 活動が実施されたこと を示す事実

因果関係

成果(アウトカム)

期待される変化

目的の達成に寄与

【達成率に基づいた評価基準】

 評価
 達成率

 大変良い
 120%以上

 良い
 100%以上120%未満

 普通
 80%以上100%未満

 少し悪い
 60%以上80%未満

 悪い
 60%未満

[14]令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

〔15〕または〔16〕に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

					令和元年度実績			
	14							
	14							
活動実績								
宝								
績								
と成果		指標名【活動指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
风		専門相談、教育研修、技術支援、普及 啓発など各事業の実施回数	0	目標値				800
*	15			実績値				
	10			達成率				
				評価				
		算出方法・設定根拠など		、関係機関	に対して実施したひき			
		指標名【成果指標】	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値				6,000
	16	専門相談、教育研修、技術支援、普及	人	実績値				
		啓発など各事業の利用者数		達成率				
		Mentale at a State In the Co. 12		評価				
		算出方法・設定根拠など	対市民	、関係機関	に対して実施したひき	こもり支援の相談、技術	f支援などの利用(参加	1)者の合計

事業の効率性

٠,	Ęι	リ刈4	严]生					
			×	分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		1				-	-	-
	17	2	② 上記①にかかる年間経費		千円	_	-	-
		3	単位当たり経費	±(②÷①×1,000円)	円/単位			
		備考	(算出についての説明等)					
			Z	分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		1				-	-	-
	18	2	上記①にた	いかる年間経費	千円	-	-	-
		3	単位当たり経費	(②÷①×1,000円)	円/単位			
ı		備考	(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に 問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- O RPA等をはじめとするICTを活用 する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の 選定など、戦略的な広報ができ ていましたか。

事務事業名 ひきこもり支援事業 011-276 シート番号

≪Ⅴ. 点検≫

- <点検の前提> 〇新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる 〇新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

0	上	記「点検の前提」を踏ま	え、事業の抜本的な見直しを検	討	するもの。 ⇒			確認	
			事業廃止の可能性		廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体	的な	影響	us S	
	20	とが想定される中、当該事業 を廃止できないか。	□ 廃止できる■ 廃止できない	ひき	きこもりに対する地域の相談先が無くなってしまう。				
	-	(20で廃止できるを選択しな	事業休止の可能性	休	止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響	木止の場合の再開時期			
	21	かった場合) 1 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業	□ 休止(延期)できる ■ 休止(延期)できない	支持	爰が有効であり、結果としてひきこもりからの回 ド早まるものであり、休止や延期は悪影響を及] 令	和3年	∓度中 ∓度 ∓度以降	
			コストの縮減	í	宿滅できる場合は具体的な縮減内容、できない				
コロナ禍	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	□ 一部廃止しコスト縮減できる □ 一部休止しコスト縮減できる □ 規模等を縮小しコスト縮減できる □ 事業手法等を改善しコスト縮減できる ■ 縮減できない	ひ 支 特	きこもり支援は、子ども青少年局と当センターが 援センター」として事業を実施しており、当センタ 比した支援に、令和2年度から実施することとなっ きない。	「ひき	きこも :805(り地域 0問題に	
恫を		(20で廃止できるを選択しな	事業手法の適切性		改善する場合は改善策、その他は現	里由			
踏まえた点検	23	かった場合) 社会経済活動の維持・回復の ほか、3密を避けるなどの市 民や民間の活動変容への対 応に向け、実施手法を改善す る必要がないか。	□ 改善する必要がある□ 改善する必要がない■ 既に対応できている	支援対象者がハイリスクな高齢者(ひきこも) 感染予防対策として、相談面接にかかる時間 場の消毒など、十分に配慮した対応をしてい					
_		(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から 改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善す	する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場	合を含	t(む)	易合は口)	
必要性・有効性・効率性)	24		① □ 公民連携の推進 ② □ ICT活用による効率化 他部局との適切な連携・役割分担 ③ ■ 関係部署名 子ども青少年局 関連事業名 ひきこもり地域支援センター ④ □ 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ □ 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ □ その他()	理由・説明	ひきこもり支援は、令和2年度から子ども青少な を年齢で区分して相談を実施するため、市民に 関が明確になり、相談機関としては、重複相談 るため、互いに専門性を活かした相談が実施で	とっ を防	てはぐこ。	相談機とができ	
			事業の方向性				美》	拖年度	
		これまでの点検を踏まえ、今 後の事業のあり方についてど のように考えるか。	□ 廃止 □ 休止または延期 □ 事業を縮・ 公金投入の方向性 □ ゼロ □ 縮小		□ 改善して継続 ■ 現状を継続 □ 事業を拡ま 現状維持 □ 拡大		令	和2年度 和3年度 14年度以降	
	25			たれ	の相談は子ども青少年局が主導して行い、ここ 目談を行っている。多様な相談になることが予想 。				